

第4章 川崎遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

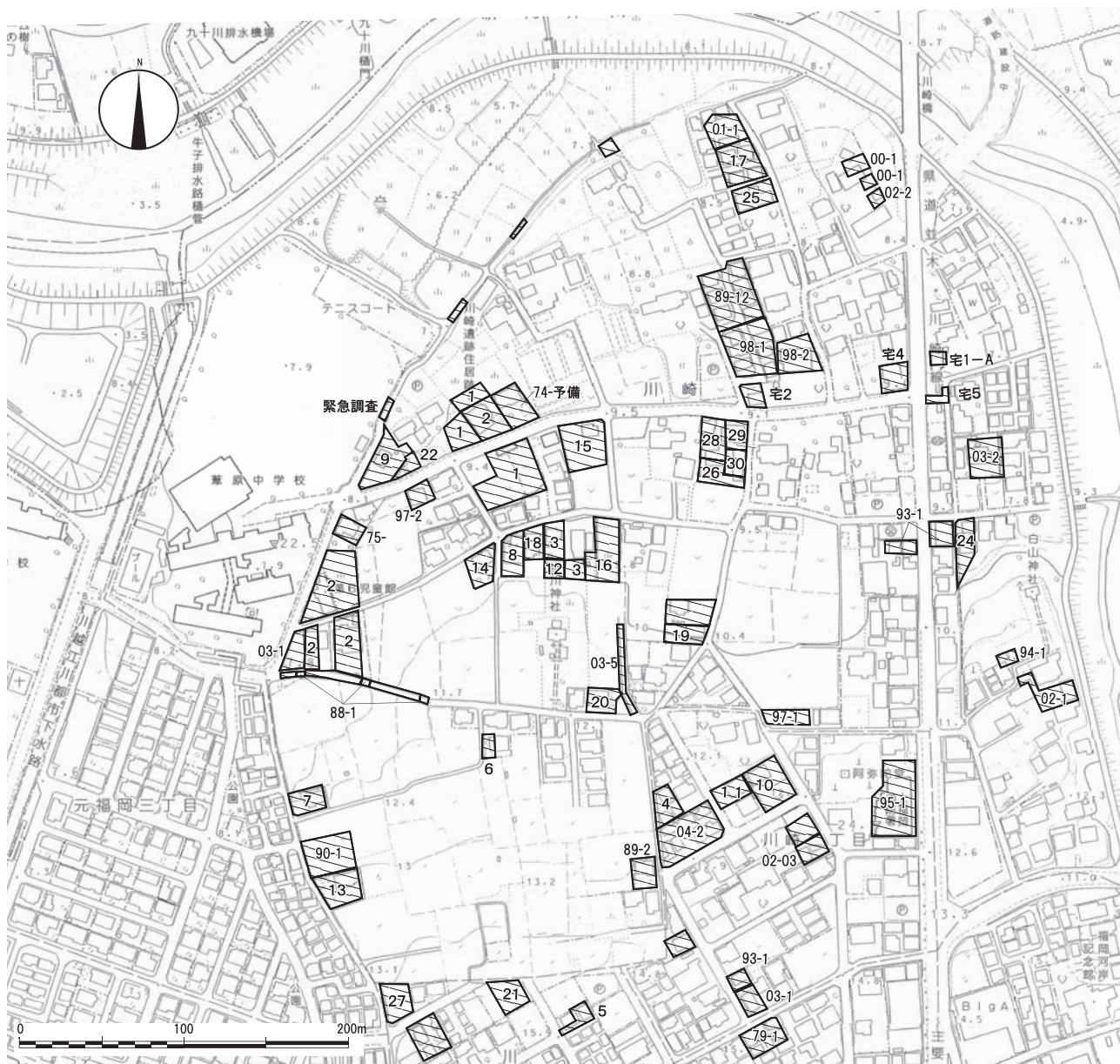
川崎遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の、いわゆる川崎台に立地している。台地の北側を東流してきた藤間江川は舌状台地の西側で新河岸川に合流し、かつては台地の先端より北東方向へ大きく蛇行していた新河岸川は、現在は台地東縁をなめるように流れる。

台地の幅は400～500m、台地の基部から先端へ1kmにわたり緩やかに傾斜しており、標高は最南部で18m、最北部では8mを測る。遺跡の範囲は南北600m、東西500m以上ある。虫食い状に宅地開発されるが、畑も良く残っている。

周辺の遺跡は、舌状台地の西側基部の急斜面上部に

川崎横穴墓群が隣接し、東側に縄文時代、古墳、奈良・平安時代のハケ遺跡がある。

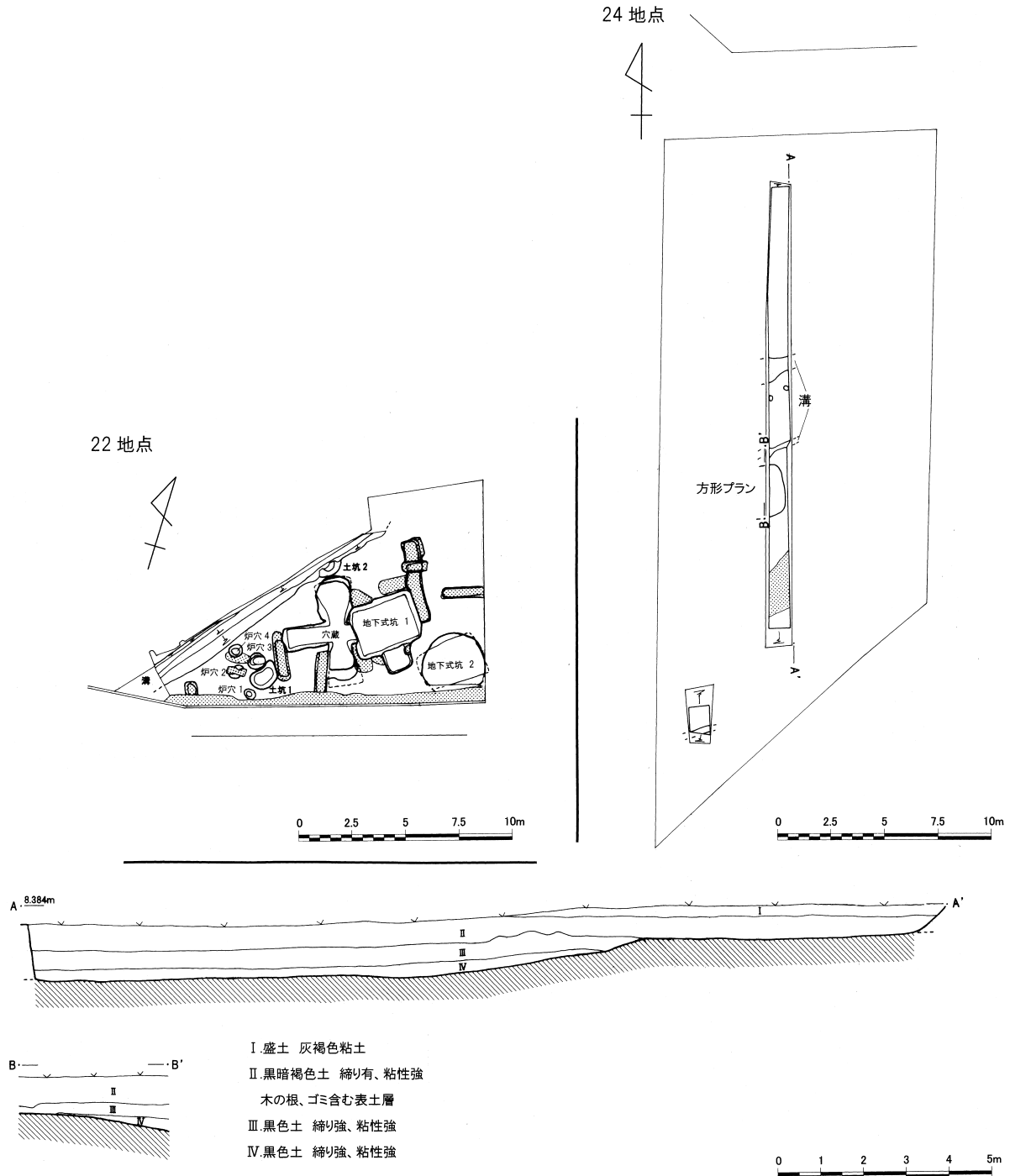
1917（大正6）年頃、台地の先端部で貝層が確認され1928（昭和3）年の調査では川崎貝塚として報告された。1967年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、1980年以来2008年12月末現在58ヶ所で調査が行なわれ、37ヶ所で遺構が確認されている。主たる時代と遺構は、縄文時代早期の炉穴、早期から前期及び後期の住居跡、古墳時代住居跡、飛鳥時代住居跡、奈良時代住居跡、平安時代住居跡・掘立柱建物跡、中世以降の溝跡、地下式坑である。またローム層中からではないが、旧石器時代の遺物も出土している。



第5図 川崎遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第9表 川崎遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
予備発掘調査	川崎160	(1974.3.25～4.4)	84	1次調査に先立つ保存状況把握	炉穴3、土坑2、ピット群、縄文土器、石器	上福岡市遺跡調査報告書
1次	川崎162～176	1974.7.20～9.19	1,800 (予定2,510)	5ヶ年計画による事前調査	住居跡11(縄文前期3、古墳前期1、国分7)、溝3、掘2、土坑5、地下式坑6、集石1	川崎遺跡 第1次調査概報
緊急発掘調査 (新井氏宅)	大字川崎字宮後168-3	1975.3.30～5.10	198.53	個人住宅	溝3、縄文土器、石器、平安土師器・須恵器・灰釉陶器・布目瓦・瓦塔	上福岡市遺跡調査報告書
宅地添1次 (A地区)	大字川崎字宅地添122	1975.6.829	50	個人住宅	縄文早期住居1、縄文土器、石器、礫	上福岡市遺跡調査報告書
2次	川崎137～174	1975.9.4～12.5	3055	5ヶ年計画による事前調査	縄文住居9、古墳住居6、奈良平安住居10、中世遺構他	川崎遺跡 第2次調査概報
3次	川崎149-6	1977.11.1～12.3	300	住宅建設	縄文住居3(7,8)、奈良平安住居(1,2,4～6,9)、焼土散布、柱穴、溝	川崎遺跡(第3次)・長宮遺跡
宅地添2次 (B地区)	川崎198	1978.5.15～25	170	宅地造成	土坑3、ピット	埋蔵文化財の調査(I)
宅地添3次 (C地区)	川崎230	1978.5.23～31	130	宅地造成	井戸跡2、地下坑1、溝1	埋蔵文化財の調査(I)
4次	川崎2-5-2	1979.4.19～5.11	304	宅地造成	縄文前期住居1、溝1 黒浜式土器、貝類	埋蔵文化財の調査(II) 埋蔵文化財の調査(IV)
5次	川崎1-1-4	1979.9.26～10.10	152	宅地造成	溝状遺構	埋蔵文化財の調査(II)
1979年度試掘 (清見)	清見4-3-11	(1979.11.12～19)	260	宅地造成	溝1	埋蔵文化財の調査(II)
6次	川崎102-5	1979.12.3～8	30	プレハブ家屋	縄文前期住居2、縄文土器片、平安住居2	埋蔵文化財の調査(II)
7次	川崎124-3	1981.11.27～30	316	個人住宅	遺構なし、平安土器片	埋蔵文化財の調査(IV)
8次	大字川崎字宮脇148-1	1984.1.17～26	400	住宅建設	溝1	埋蔵文化財の調査(VI)
宅地添4次	川崎宅地添219	1984.9.25～10.9	301	住宅建設	縄文住居1、平安住居1	埋蔵文化財の調査(VII)
9次	川崎字宮後口172-1,2	1986.9.11～20	495	個人住宅	溝2、縄文後・晩期、平安土器散布	埋蔵文化財の調査(IX)
10次	川崎224-1	1987.11.24～30	603	個人住宅	溝1	埋蔵文化財の調査(X)
11次	川崎2-6-2	1988.5.10～17	289	住宅建設	なし	埋蔵文化財の調査(11)
1988年度試掘 (市道402号線)	市道402号線	(1988.9.19～21)	60	下水道設置	住居1	埋蔵文化財の調査(11)
1989年度試掘(1)	川崎字宅地添196-1	(1989.4.10～18)	1045	住宅建設	なし	埋蔵文化財の調査(12)
1989年度試掘(2)	川崎字宮前98-2	(1989.10.3～6)	264	住宅建設	なし	埋蔵文化財の調査(12)
12次	川崎字宮前149-4・5	1990.4.20～27	311	住宅建設	溝2	埋蔵文化財の調査(13)
13次	大字川崎字宮前122	1990.5.1～17	480	住宅建設	奈良住居1	埋蔵文化財の調査(13)
1990年度試掘(1)	大字川崎字宮前122	(1990.5.18～23)	530	範囲確認調査	なし	埋蔵文化財の調査(13)
14次	大字川崎字宮前145	1990.10.1～31	499	住宅建設	縄文前期住居1、貝塚、平安住居1	埋蔵文化財の調査(13)
15次	川崎字宮後口160-1	1991.10.23～11.20	499	個人住宅	平安住居7、土坑1	埋蔵文化財の調査(14)
1992年度試掘(1)	大字川崎字山向9-5	(1993.2.18～19)	168	店舗併用住宅	なし	埋蔵文化財の調査(15)
1993年度試掘(1)	川崎2-2-10,11	(1993.8.24)	131	個人住宅	なし	埋蔵文化財の調査(16)
1993年度試掘(2)	川崎1-1-1の一部	(1993.9.10～13)	422.37	個人住宅	なし	埋蔵文化財の調査(16)
1994年度試掘(1)	川崎字台258他1筆	(1994.11.17～24)	230	機材置場敷設	なし	埋蔵文化財の調査(17)
1995年度試掘(1)	川崎2-7-2,3	(1995.10.13～16)	1126.34	消防署	なし	埋蔵文化財の調査(18)
16次	川崎字宮脇150-2,3	1995.12.11～1996.3.8	828	駐車場及び資材置場敷設	縄文前期(黒浜期)大形住居1、同期住居跡2・土坑2、平安住居跡4・掘立柱建物跡6、中世竪穴状遺構2	7年度教育要覧
17次	川崎字宅地添204の一部	1996.7.15～23	779.69	個人住宅	平安住居1	埋蔵文化財の調査(19)
18次	川崎字宮脇148-3	1996.11.18～25	198	個人住宅	平安住居1	埋蔵文化財の調査(19)
1997年度試掘(1)	川崎字山向21	(1997.4.14)	367.21	宅地造成	溝1(時期不明)	埋蔵文化財の調査(20)
1997年度試掘(2)	川崎字宮後口165-6	(1997.10.20)	204.34	個人住宅	なし	埋蔵文化財の調査(20)
1997年度試掘(3)	川崎字宅地添199-1,2,5	(1998.2.12～16)	780.36	個人住宅	なし	9年度教育要覧
1998年度試掘(1)	川崎字宅地添197-1	(1998.10.27～11.6)	996.09	宅地造成	縄文前期土坑1ほか	埋蔵文化財の調査(21)
市道402号線 2次	川崎字宮前、宮脇地内	2000.2.21～25	496	道路築造	縄文前期住居跡1	11年度教育要覧
2000年度試掘(1)	川崎字宅地添209の一部	(2000.6.19～22)	123.3	個人住宅	貝塚の一部	埋蔵文化財の調査(23)
範囲確認調査	川崎字宅地添209	(2001.6.12～25)	100	車庫	溝1	埋蔵文化財の調査(24)
19次	川崎字宮脇157の一部	2001.9.18～10.4	289.2	個人住宅	平安初頭住居1	埋蔵文化財の調査(24)
2001年度試掘(1)	川崎字宅地添204-1	(2001.10.29,30)	825.42	宅地造成	なし	埋蔵文化財の調査(24)
2002年度試掘(1)	川崎249-1の一部	(2002.5.13)	341.32	倉庫	なし	埋蔵文化財の調査(25)
2002年度試掘(2)	川崎210-1,2の一部	(2002.10.28,29)	551	共同住宅	溝1 【盛土保存】	埋蔵文化財の調査(25)
2002年度試掘(3)	川崎2-4-16	(2002.12.24)	228	個人住宅	なし	14年度教育要覧
2002年度試掘(4)	川崎2-2-12	(2003.3.13)	165	個人住宅	なし	14年度教育要覧
2002年度試掘(5)	川崎字宮脇155先	(2003.3.26)	164	市道401号線舗装工事	なし	14年度教育要覧
2003年度試掘(1)	川崎137-1の一部	(2003.8.6,7)	257.5	個人住宅	なし	埋蔵文化財の調査(26)
2003年度試掘(2)	川崎字宅地添226-14	(2003.12.8,19)	381	個人住宅	なし	埋蔵文化財の調査(26)
宅地添地区5次	川崎字宅地添222-3先	2004.2.16～18	88	?	古墳初頭竪穴住居跡1 【調査実施】	15年度教育要覧
2004年度試掘(1)	川崎字宮脇157-1の一部	(2004.6.14,15)	421	個人住宅	平安竪穴住居のカマドの一部	埋蔵文化財の調査(27)
2004年度試掘(2)	川崎2-5-1	(2004.11.1～4)	881	宅地造成	なし	埋蔵文化財の調査(27)
20次	川崎字宮脇153-5	2005.11.28～12.2(11.22～27)	257	個人住宅	古墳住居1	市内遺跡群1
第21地点	川崎1-6-10	(2006.4.11)2006.4.14～20	298	個人住宅	奈良住居1、溝	市内遺跡群3
第22地点	川崎171-1,174-10	(2007.4.16～23)	104	消防分団倉庫	炉穴4、地下式坑2、穴蔵1、土坑2	市内遺跡群4
第23地点	川崎字宮前102-4・6	(2007.6.4)	240.6	個人住宅	工事中工済みの為工事立会い	市内遺跡群4
第24地点	川崎字宅地添225-3	(2007.10.4)	319	共同住宅	なし	市内遺跡群4



第6図 川崎遺跡第22・24地点遺構配置図 (1/300)、第24地点土層図 (1/150)

III 川崎遺跡第24地点

調査は共同住宅の建設に伴うもので、原因者より2007年8月23日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の東側に位置し、現在の新河岸川から約70m離れている。

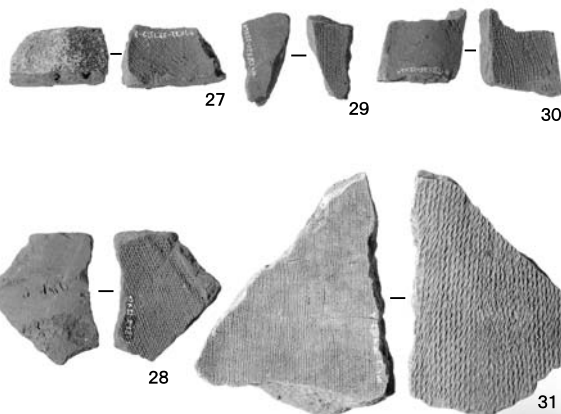
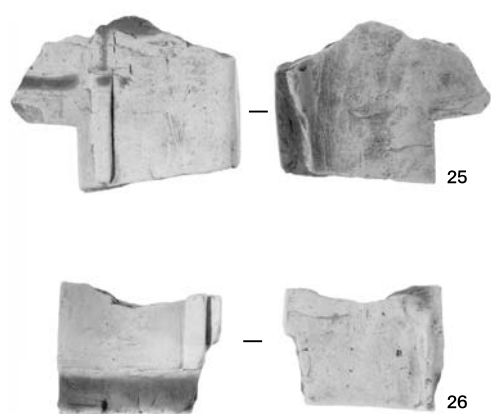
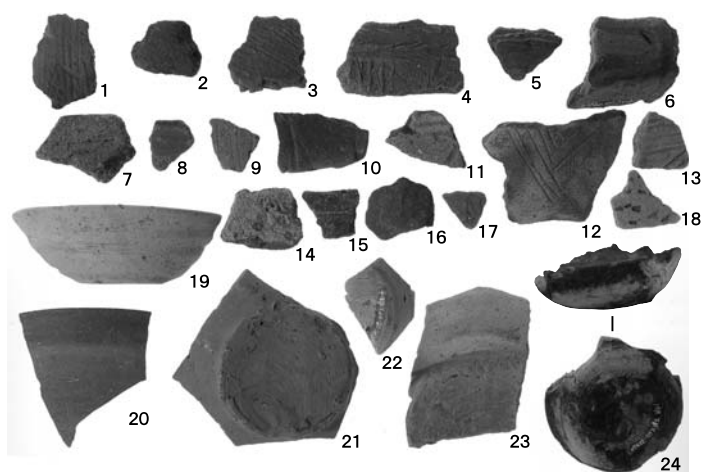
試掘調査は同年10月4日に行なった。幅約1mのトレンチを2本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なった。

調査区の地山面は南から北に傾斜しており、調査区南側ではローム層が確認できたが、北側では茶褐色土

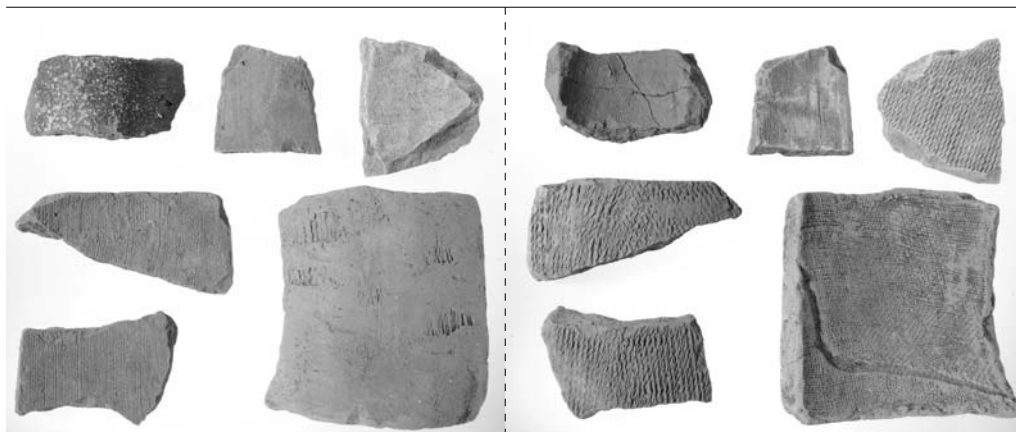
の地山層であった。トレンチ2の中央部付近で隅丸形状の黒色土プランを確認、また同トレンチ内の4m北側で円形と溝状プランを確認した。堆積土の状況から遺構の可能性も考えられる。出土遺物は方形状プラン上の表土層から磨滅著しい土師器片数点が出土している。黒色プランの確認面からの深さは90～130cmで、建築予定建物の基礎の深さより30cm以上の保護層が確保されるため、開発においては慎重工事の措置をとり、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ない、試掘調査を終了した。



川崎遺跡第22地点溝



川崎遺跡第22地点出土遺物No.1～34



川崎遺跡第1・2次調査出土瓦（左：凸面、右：凹面）



川崎遺跡第24地点試掘調査



川崎遺跡第24地点試掘調査方形プラン